

第4回くらす部会会議録

日 時	2017年7月24日(月) 13:30~15:30
場 所	地域連携交流施設 2階 会議室
テーマ	1、本日参加メンバー 2、協議課題 3、その他 4、次回開催日の調整
内容	<p>1、参加メンバー：12名</p> <p>「防災」と聞いて、思いつく事はなに？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災マップ・ハザードマップ ・ヘルプカードの普及の普及・啓発 ・ダンボールベッド ・非常用持ち出し袋 (ヘルメット・簡易トイレ・缶詰・ラジオ・タオル類・ウェットシート・軍手・スリッパ・救急セット・懐中電灯 筆記用具・ガムテープ・ひも・時計・笛・お薬・電池・水など) ・非常用電源 ・かけはし ・家族写真 ・浄水器 ・ガソリンを満タンにしておく ・防災マニュアルの本(災害がある前に準備できること) ・新聞 ・レトルト食品などの備蓄品 ・災害ボランティアについて、取組んでいく ・要支援者の登録をすすめる ・要支援者とわかりやすい対策(避難所で) ・避難場所(メリット・デメリットや、災害別の避難場所)・連絡方法の確認 ・緊急避難ルート、アプリ ・避難訓練(書類の簡略化はできないものか?!) ・自治会の防災の研修会に参加 ・家の耐震基準を調べておく ・播磨町毎月1日テスト放送 ・近所の人との付き合い ・寝室に靴をおく ・保護者への生徒の引き渡し

2、協議課題

○防災について

障害のある人の防災とは

- ・非難場所までのルート(ひとりで行けるのか？ひとりで行けなかった時にどうするかを考えておく)
- ・助けてもらえる人への連絡方法
- ・車いすは電動？手動？⇒動きが取りやすい
- ・個別支援マニュアルカード⇒ヘルプカード？
- ・通所中や外出中等 本人だけの時が心配。どう行動するか
→ヘルプカードの利用。要援護者の申請
- ・備品の中に自分だけ必要なものの準備(バッテリーなど)
- ・自治会や近所との付き合い
- ・要支援者登録
- ・ヘルプマークの啓発
- ・ヘルプカードの啓発。全家庭配布、回覧版で周知(高齢者はPC やもらいに行く等できない)
こどもだけでも・・・各学校で印刷(予算削減)。小学校の道徳の時間等で、子ども本人に作らせる
高齢者用、全盲者(音声機能・点字など)
- ・支援者登録。「支援できますカード」聞いてもらいやすくなる
- ・非難計画(計画相談の中で)
- ・非難開始の合図(アプリの開発)、情報、メール登録
- ・高齢・ケアマネ・相談員との連携
- ・被災地の体験談情報を集める
- ・電源確保→自家発電の場所の確認
- ・医療情報キッド
- ・普段からの災害別の訓練の工夫
- ・マンション内で、災害時の行動の取り決めを行う

まとめ

- ・ヘルプカードの啓発
有料で、役場で購入できるようにする
広報で周知する
地元の避難訓練時などに、自治会・消防団で広報
イベント(大中遺跡まつり・風薫るフェスタ)で啓発ティッシュ配布
役場・コミセンなどの公共の場所やコンビニ・スーパーに啓発ポスターを貼ってもらう
- ・電動車いすを充電するために発電機がどこにあるか、町内施設を確認する
→宿題： 発電機の設置場所を次回部会までに確認する

3、その他

○全体研修会

- ・全体研修会：7月26日（水）10：00～12：00 播磨町健康いきいきセンター
「すべてのこどもを育てる学校
～地域で子どもを育てていくために 障害児福祉制度の現状と課題」
講師：宮田広善 医師(姫路聖マリア病院 重度障害総合支援センター^{ルルド}センター長)
西村恵子校長（東はりま特別支援学校）
濱口直哉 氏（地域支援センターあいあむ）
- ※前日 15:00 からの会場準備及び当日受付・片付けの手伝いのお願いいたします。

○避難所運営体験ゲーム HUG ゲーム体験

- ・高砂自立支援協議会:12月7日(木) 開催予定

4. 次回開催日の調整

H29年9月4日（月）13：30～15：30 地域連携交流施設